

大型車
ご使用の
皆様へ

自動車点検基準が 改正されました。

大型車のホイール・ボルトに関する追加点検項目

大型車 車両総重量8トン以上のトラック又は乗車定員30人以上のバス

日常点検

【使用者の点検項目】

1 目視での点検

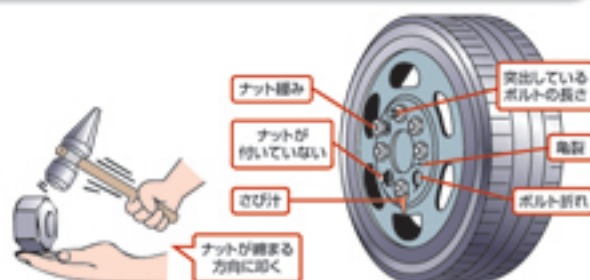
- ホイール・ナットの脱落やホイール・ボルトの折損はないか。
- ホイール・ボルトのまわりにさび汁がたまった跡はないか。
- ホイール・ナットから突出しているホイール・ボルトの長さに不揃いはないか。

2 点検ハンマなどを用いての点検

- ホイール・ボルトの折損やホイール・ナットの緩みがないか、ホイール・ナットの下側に指を添えて点検ハンマでホイール・ナットを叩いたときに、指に伝わる振動が他のホイール・ナットと異なったり、濁った音がしないか。

3 ディスク・ホイール取付け後の増し締め

- ディスク・ホイール取付け後（タイヤ交換時を含む）は、50～100km走行後をめやすにトルク・レンチを用いるなどにより、規定トルクでホイール・ナットを締め付けてください。



規定トルク（社団法人 日本自動車工業会）

JIS方式（8穴）使用過程車	540～590N・m
ISO方式（10穴） JIS方式（6穴）	各車両毎の規定トルク

3月点検

【使用者の点検項目】

1 ホイール・ナットの緩み点検

- トルク・レンチを用いるなどによりホイール・ナットを規定トルクで締め付けます。
- JIS方式のダブルタイヤの場合はインナーナット、アウターナットの順で増し締めします。

12月点検

【使用者の点検項目】

1 ディスク・ホイールを取りはずして行う点検 目視などにより次の点検を行います。

- ホイール・ボルト及びホイール・ナットに亀裂や損傷がないか。
- ホイール・ボルトに伸びはないか。
- ホイール・ボルト及びホイール・ナットにさびの発生はないか。
- ホイール・ボルト及びホイール・ナットのねじ部につぶれ、やせ、かじり等の異状はないか。
- ディスク・ホイールのボルト穴、筋り穴のまわり及び溶接部に亀裂及び損傷がないか、ホイール・ナットの当たり面に亀裂、損傷及びへたりがないか。
- ディスク・ホイールのハブへの取付面、ディスク・ホイールの合わせ面に摩耗や損傷がないか。

2 ディスク・ホイールを取付ける際に行う点検

- ディスク・ホイールのハブへの取付面、ディスク・ホイールの合わせ面、ホイール・ボルト及びホイール・ナットのねじ部等を清掃し、さび、ゴミ、泥、追加塗装等の異物を取り除きます。
- ホイール・ボルト及びホイール・ナットの潤滑
- ホイール・ナットの締め付けは、対角線順に2～3回に分けて行い、最後にトルク・レンチを用いるなどにより規定トルクで締め付けます。
- ホイール・ナットの締め付けは、なるべく奥まで手で回して入れ、円滑に回すことを確認し、ひっかかり等異状がある場合にはホイール・ボルト等を交換します。
- インパクト・レンチで締め付ける場合は、締付時間、圧縮空気圧力等に留意し、締めすぎないように十分注意を払い、最終的な締め付けは、トルク・レンチを用いるなどにより規定トルクで締め付けます。

油類塗布位置例 - JIS方式 -



タイヤ交換時の注意事項（JATMAより）

- タイヤ交換の際は、12月点検の1、2項に従い点検・取付けを行ってください。
- 誤組防止のため、ディスク・ホイールの種類（スチール製、アルミ製）に合ったホイール・ボルト及びホイール・ナットを使用してください。
- 使用限度を超えた部品はゆるみの原因になりますので、お取替えをお奨めします。